

【9/23 手話の日 ブルーライトの報告】

【『手話の日』とは…？】

2025年6月25日に「手話に関する施策の推進に関する法律（手話施策推進法）」が施行され、9月23日を「手話の日」とすることが明記されました。

9月23日（火・祝） 「手話言語の国際デー」

広島県内では、昨年に引き続き、三原市・東広島市・福山市・呉市にてブルーライトが照らされました。今年は新たに、尾道市・廿日市市・安芸郡熊野町でもブルーライトの点灯が行われ、手話言語デーを共に盛り上げていただきました。

なお、広島県にはブルーライト照明の設備がないため、今年も広島県ろうあ連盟が広島県聴覚障害者センター（国道2号線側の窓）に「9月23日 手話言語デー」のスローガンを掲示しました。こちらも照明設備がないため掲示のみとなりましたが、「手話が言語である」ことを広く知っていただけるよう、今後も活動を続けてまいります。

【広島県ろうあ連盟】

広島県聴覚障害者センターの
2号線側の窓



【2025年テーマ】「手話言語権は人権だ！ (No Human Rights Without Sign Language Rights)」

《ブルーライトアップ日》2025年9月23日（火・祝日）日没～22時

【三原市】三原市役所本庁舎

【東広島市】東広島市立美術館

【呉市】呉市郷原町《城山》

【福山市】福山城
(福山城本丸・二之丸土堀の狭間)

New!

【尾道市】・尾道水道を挟んで
向島ドッククレーン
・しまなみ交流館

New!

【安芸郡熊野町】熊野町役場

New!

【廿日市市】廿日市あいプラザ



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

【点字ブロックが増設されました。】

広島県健康福祉センター2階の点字ブロックが増えて、視覚障害者の方も利用しやすくなりました。



【広島県難聴者・中途失聴者支援協会からのお知らせ】

岩波書店より9/19発売！ 難聴を生きる 音から隔てられて

宿谷辰夫、宇田川芳江 編

「突然聞こえにくくなった」「話はできる。じつは聞こえてない」
私たちの身の回りに「聞こえ」に困難を抱えている人たちがたくさんいる。
にもかかわらず、難聴や中途失聴者が生きる現実ほとんど知られていない。
日常にあるきづらさ、あるべき聴覚環境を、
難聴や失聴者、多くの読者たちの声から伝える。



あの名著「音から隔てられて」を
継いで半世紀ぶりの続編が完成！
どうぞ、手に取ってご覧ください。
お問い合わせ・ご注文は、

全難聴事務局へ

※本屋、セブンイレブンなどで注文、ほか、Amazon などネットで購入できます。



チラシはじょうろから

